

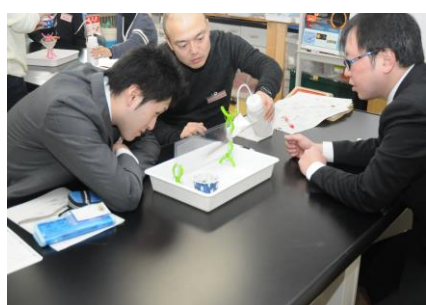
平成26年度 小学校理科研修講座（授業づくり、冬季）報告

◆研修講座の様子



【講義】1日目

- 「自然に働きかけ、問題解決能力を育てる理科指導」



【実習】1日目

B区分 地学

- 「地球の内部」の実習を行い、実感を伴った理解を図る授業づくりについて検討する」

○地球の内部

- ・流水の働き
- ・土地のつくりと変化



【実習】1日目

A区分 粒子

- 「粒子のもつエネルギー」の実習を行い、実感を伴った理解を図る授業づくりについて検討する」

○粒子のもつエネルギー

- ・空気と水の性質
- ・金属、水、空気と温度



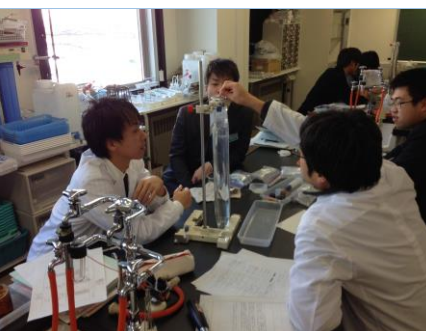
【実習】1日目

A区分 エネルギー

- 「エネルギーの変換と保存」の実習を行い、実感を伴った理解を図る授業づくりについて検討する」

○エネルギーの変換と保存

- ・電気の利用



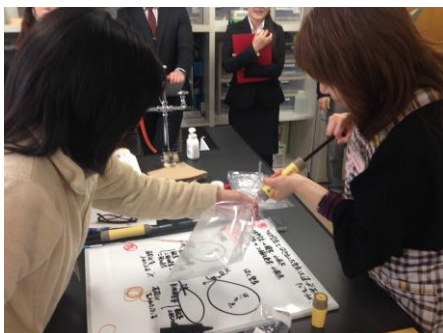
【実習】2日目

A区分 粒子

- 「粒子の保存性」の実習を行い、実感を伴った理解を図る授業づくりについて検討する」

○粒子の保存性

- ・物の溶け方
- ・燃焼の仕組み



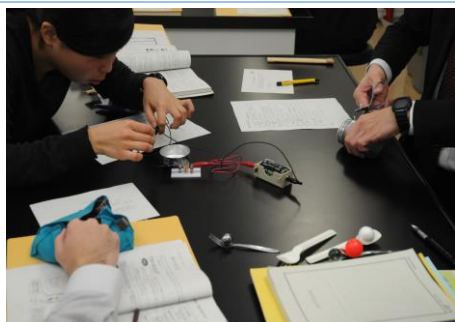
【実習】2日目

B区分 生命

■ 「「生物の構造と機能」の実習を行い、実感を伴った理解を図る授業づくりについて検討する」

○生物の構造と機能

- ・人の体のつくりと運動
- ・人の体のつくりと働き



【実習】3日目

A区分 エネルギー

■ 「「エネルギーの変換と保存」の実習を行い、実感を伴った理解を図る授業づくりについて検討する」

○エネルギーの変換と保存

- ・磁石の性質
- ・電気の通り道
- ・電気の働き
- ・電流の働き



【実習】3日目

B区分 地球

■ 「「地球の表面」の実習を行い、実感を伴った理解を図る授業づくりについて検討する」

○地球の表面

- ・天気の様子
- ・天気の変化

◆受講者の声

- 1日目の講義「自然に働きかけ、問題解決能力を育てる理科指導」を聴いて、理科指導における、考え方、おさえるべき点を確認できました。明確に視点を持つことによって、児童の力を伸ばす授業作りに生かせそうです。
- 1日目の実習（地球）では、室内でできる実験装置が工夫して作られていて、驚きました。授業でぜひ使いたいと思います。これからは、防災も意識して指導していかなければならないことがわかりました。
- 1日目の実習（粒子）では、蒸発の説明についての難しさを再認識しました。先生方の考えを交流の中で聞くことができ、自分の授業について深く考え直す良い機会になりました。
- 1日目の実習（エネルギー）では、スピーカーは、簡単な構造なのに、しっかり聞こえて驚きました。子どもの興味を引き、普段の生活の中で使われているもののしくみを知る、素晴らしい機会となりました。
- 2日目の実習（粒子）では、粒子についての学年の系統性を踏まえ、学習することができ、授業におけるポイントをつかむことができました。モデル図を描かせる際の指導のポイントについて大変勉強になりました。
- 2日目の実習（生命）では、マイワシや手羽先など、身近なものを使って学習できたのが驚きです。「生命倫理」にも触れるいい機会になると思うので、是非とも授業作りに生かしたいと思います。

- 3日目の実習（エネルギー）では、1階、2階、3階で電気のスイッチを入れられる回路をつくる問題にとっても熱中できました。電気を通す物質の探し方も、好奇心をくすぐるものを教材化しているので、子どもたちの心に残っていくと思いました。
- 3日目の実習（地球）では、子どもが興味を持ちそうなシャボン膜の観察などを教えてもらえてとても良かったです。どうしても、知識が先行してしまう分野だったので、とても勉強になりました。
- 講座全体を通じて、理科の授業に対する考えを深めることができました。教科書の内容を伝えるだけの授業ではなく、理科を通して、課題を見つける力や、課題解決のアプローチの仕方、考えの伝え方など、意識的に児童につけたい力を明確化し、授業をつくっていく必要があると感じました。今後に向けて素晴らしい機会となりました。また、参加したいと思います。